



研修医の皆さんへ

1年目の研修医の先生は、研修開始から約半年が過ぎました。医師として、社会人としての生活には慣れたでしょうか？2年目の研修医の先生は、そろそろ3年目以降の進路が定まってくる頃でしょうか。

臨床研修指導医の資格を取るための講習会があるのですが、先日タスクとして参加してきました。当院で研修医生活を送った先生が、指導医の立場で講習会に参加するようになっており、時の流れを感じました。受講生が研修指導で困っている事について話すグループディスカッションでは、「君たちも研修医時代の行動はそうだったよ」という内容もいろいろ出てきました。「最近の若いもんは…」というのは、永遠に繰り返されるようです。貴重な症例の手術の時に、経験してほしいんだけど当直明けに残ってもらったり時間外に呼び出すのに気を遣うなどの意見もあり、指導医も指導医で気を遣っているようです。指導医と研修医の間のコミュニケーションがしっかりとれると、解決できる悩みがたくさんありました。皆さんも自分のやりたいこと、気が付いたことを指導医や診療支援室にしっかりと伝えて、よりよい充実した研修にしていきましょう。

教育研修センター長
佐々木 基史



臨床研修病院としての役割

地域の中核病院としての機能を有する当院において、最新の医療施術及び情報を提供し、病院全体として医師の臨床研修を積極的に支援する。

初期臨床研修

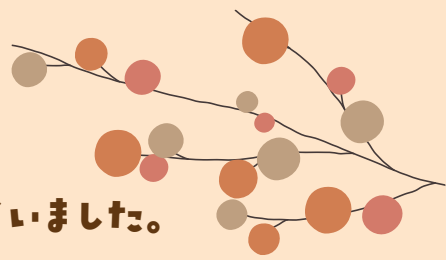
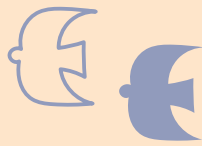
理 念

プライマリ・ケアから高度な医療まで幅広い経験を積むとともに、様々な医療従事者と密接な連携のもとで多くの患者に接することにより、医師として必要な人格を育み、広く社会の医療福祉に貢献できる人材を育成する。

基本方針

- ①臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を習得する。
- ②人としても信頼される人格・素養を身につけ、思いやりの心を持って患者およびその家族に向き合い患者中心の全人的医療を行える。
- ③チーム医療の一員としての役割を理解し、他職種と協働して診療することができるコミュニケーション能力を身につける。
- ④医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける。
- ⑤地域の中核病院としての役割を理解し、健康の保持、疾病の予防から社会復帰に至る医療全般の責任を有することを自覚し、行動できる。

大学病院で研修してきました!



大学病院での研修を終えた2名の研修医に研修報告をしてもらいました。

島根大学医学部附属病院での研修を終えて

2年次研修医 榎原 侑子

私は6月に島根大学医学部放射線科で1ヶ月間研修をさせていただきました。出身大学ではありましたが、久しぶりの大学病院に少し緊張しながらも、画像読影、IVR業務、カンファレンス参加を通して、日々学びのあるとても楽しい研修ができました。

読影業務では自分の作成した読影レポートひとつひとつに先生方が丁寧に添削や解説、レクチャーをしてくださり、非常に勉強になりましたし、放射線科医の画像を見る目や思考回路に、毎日驚きやわくわくの連続でした。IVRでは沢山の大学ならではの症例を通して、その特有の考え方や手技を経験することができました。カテーテル室だけではなく、時には手術室や救急部に赴き活躍するIVRの先生方のカッコいい姿がとても印象的でした。

また、科内カンファレンス・勉強会だけでなく他科との合同カンファレンスにも参加することで、臨床における放射線科医の視点や存在の重要性に触れることができました。

短い期間ではありましたが、大学でしかできない貴重な経験も多く、学びに満ちた濃い研修でしたし、何より、優しくあたたかい先生方に囲まれとても楽しい1ヶ月だったと思います。学年の近い若手の先生からベテランの上級医の先生まで、数多くの先生方とお話し、ご指導をいただくことで、自分の学びや成長につながったのはもちろん、大きなモチベーションをもらうことができました。今後の研修生活や勉強をもっともっと頑張っていきたいなと思います。

鳥取大学医学部附属病院での研修について

2年次研修医 三好 淳也

6月の1ヶ月間、鳥取大学医学部附属病院精神科で研修を行いました。大学病院特有の経験をたくさんさせていただきました。月曜日のカンファレンスでは新規入院症例について教授診察を見学し、診断の妥当性や治療方針について議論を交わしました。医局員全員に発言の権利があり、それぞれの見解が尊重されます。精神科は一般的な内科診療とは違い、診断の見立てがそれぞれの先生で異なる場合があります。また診断が同一でも選択する薬剤や開始容量が異なることもあります。そこが精神科診療の面白さでもあり、難しいところであると私は考えています。多くの先生の意見を聞くことで他面的な見方ができ、とても有意義に感じました。その他、自分が予診をした症例の初診陪席やリエゾン初診症例の治療検討なども数多く経験できました。初めてお会いする患者さんとの向き合い方や会話の進め方について多くの先生から学びました。入院では電気けいれん療法や認知行動療法を行っている症例を担当しました。治療を通して変化していく患者さんの状態を目の当たりにしました。必ずしも医療者の望む方向へ治療が進むわけではなく、紆余曲折があることを実感しました。児童思春期の精神医学にも興味があったため、児童相談所のケース相談にも同行させていただきました。1ヶ月の研修は本当にあつという間でした。前年度松江市立病院で研修していた同期とも久しぶりに会うことができ、嬉しかったです。今回の研修で学んだことを今後の診療にも活かしていきたいです。

地域医療の現場から

～飯南町立飯南病院のみなさん!お世話になりました～

残暑もようやく和らぎ、だんだん過ごしやすい日が増えてきました。

私は6月に飯南病院で1ヶ月間研修を行いました。初めての地域病院での研修であり当初は緊張していましたが、指導医の先生方やスタッフの皆様の温かいご尽力のおかげもあり、有意義な研修を行うことができました。改めてお礼申し上げます。

救急外来の初診で担当した患者さんが入院となり、その後の治療方針決定から退院に至るまでの各工程を自分主体で行う機会をいただきました。担当医として患者家族や施設職員、また医療スタッフの方々と情報共有を行うなかで、目の前の病気を見るだけでなく、患者さんを取り巻く環境も含めて幅広くフォローをしていくことの大切さと地域医療ならではの難しさも改めて実感しました。

飯南では、わに料理(鮫料理)が有名と伺ったので、近くのレストランで初めてのわに料理にもトライしてみました。感想としては「イカのような食感のあるマグロ」という感じでした。もし興味のある方がおられましたら是非ご賞味ください。秋の気配が漂い始める季節の変わり目、どうぞご自愛ください。

2年次研修医 黒川 透





学会に参加してきました!



2年次研修医 田邊 紗也夏

鳥取大学整形外科での研修中に先生方にお誘いいただき、6月16日～18日に札幌コンベンションセンターにて行われたJOSKAS-JOSSM 2022に参加してきました。

私自身の発表はありませんでしたが、スポーツ医学・整形に関する様々な研究成果の発表や教育講演を拝聴したことで初学者ながら知見が広

がり、整形外科領域に対する興味が膨らみました。特に女性アスリートに対するフィジカルコンディショニングやスポーツ障害の予防についての講演は印象に残っており、筋力や骨量、女性特有のホルモンバランスなど男性よりもさらに多方面に注意を向けて関わっていく必要があることを実感することができました。演者に元日本ハムファイターズ監督の栗山英樹氏を迎えた講演では、アスリート側が実際にスポーツ整形外科医に求めることや日頃疑問に思っていることを生の声で聴くことができ、大変貴重な体験となりました。

学会に参加するために大学病院、松江市立病院の各方面の方にたくさんお力添えをいただきました。コロナ禍にも関わらず、こういった学習の機会を作っていただき大変感謝しております。これからもより一層研修に励みます。

1年次研修医 池田 祥碩

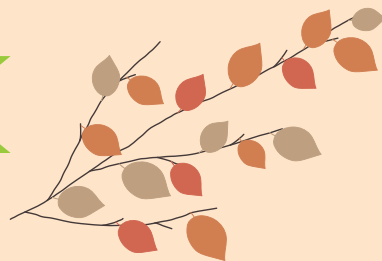
8月5日から7日に福岡国際会議場で開催された「第74回日本産婦人科学術講演会」に参加させていただきました。

私は、初期研修1年目であり、今回が初めての学会参加でした。自身の発表はありませんでしたが、医局の先輩の発表を拝見し、専門家の先生の講演を拝聴させていただくことで、学術的な知見を高めるのみならず、数年後には自分が発表する立場になることを目標に医学に対する意欲を高める良い機会であったと感じています。

今回、得られた教訓を大切に、日々の研鑽に邁進していく所存です。



学会発表してきました!



2年次研修医 岡田 優

6月末に学会発表を行いました。自身初の学会発表でとても緊張しましたが、日々指導医の中下先生、鞆嶋先生、高井先生にご指導いただき深めてきた理解を症例発表という形で無事発揮することができました。神経疾患は実に奥深く、自身の演題の学習のみならず、他病院で先生方がご経験された症例発表を拝聴することで、新たに知識を得て理解を深めることもできました。学会会場でしか味わえない雰囲気や得られた学びは、今後活かせる貴重な経験となり、これからも日々の学びに励み進歩していきたいと改めて思う機会となりました。この度、ご指導いただきました先生方皆様、そして患者さんに心から感謝いたします。



第12回山陰呼吸器臨床セミナー 発表報告

2022年9月8日に国際ファミリープラザで行われた第12回山陰呼吸器臨床セミナーにて「新型コロナワクチン接種後の副反応について」という演題で発表させて頂きました。研修医となってから初めて頂いた発表の機会でしたが、医学部に入って初めての学会発表も呼吸器領域でしたので、なにか感慨深いものがありました。残念ながら優秀賞を取ることはできませんでしたが、とても良い経験になったと考えております。最後に、短い期間ながらスライド作成から当日の発表まで熱心にご指導して下さいました呼吸器内科の武田先生、アドバイスを頂いた諸先生方に心から御礼申し上げます。

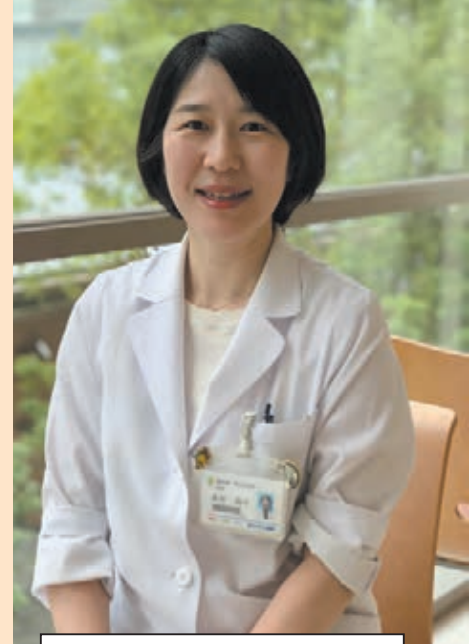
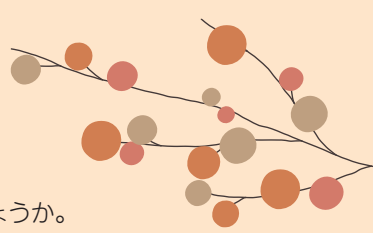
1年次研修医 片岡 諒



指導医からひとこと

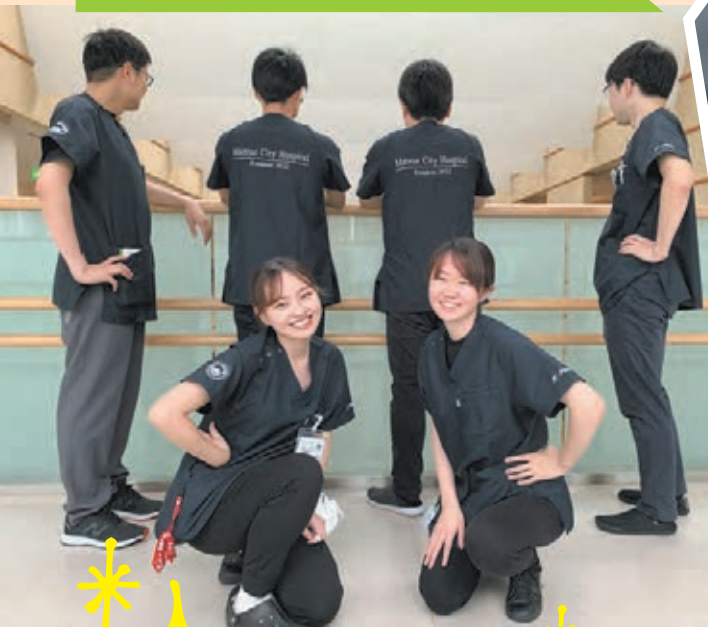
研修医のみなさん、松江市立病院での研修はいかがでしょう。

1年目の先生方は研修当初は不安の方が多かったと思いますが、一緒に救急外来などをしていると、診療に慣れてきているのが目に見えています。2年目の先生方にいたっては、堂々としていて、いつも助けてもらっています。ありがとうございます。救急外来は通年通して経験できますが、各科のローテーション期間は短く、慣れたころには研修が終了してしまいます。指導医についているだけでは、学べる知識は限られます。なるべくベッドサイドにいて、患者さんが受ける検査や指導は一緒に見て行ってみてください。レポートを読むだけでは得られない情報を得ることが出来ます。また、技師さんやリハビリ士さん、看護師さんの方がずっと知識豊富ですし、熱心に教えてくれることがあります。私も研修医の頃、コメディカルの皆さんに助けてもらい、教えてもらうことがたくさんありました。知識だけでなく、仕事や患者さんに対する姿勢なども学べます。研修医の時からチーム医療を意識してみてください。一緒に頑張っていきましょう。



糖尿病・内分泌内科
多田 裕子 先生

スクラブ作りました!



宍道湖の夕日と塚ヶ島を
イメージしたマーク

番外編

今年も医局の中庭で
カモの親子発見!!



1年次研修医の
先生たちのスクラブ…
素敵に出発上がりました!

今後の主な予定

10月7日(金曜日)	※地域医療研修に係る研修協力施設合同説明会(オンライン開催)
11月5日(土曜日)	令和4年度松江市立病院緩和ケア研修会
11月16日(水曜日)	CPC(病理症例検討会)
11月25日(金曜日)	島根県臨床研修医合同研修会

※松江赤十字病院との合同開催となります



松江市立病院
Matsue City Hospital

〒690-8509
島根県松江市乃白町32番地1
TEL(0852)60-8000(代)
FAX(0852)60-8005

発行者/松江市立病院 病院長

編集/診療支援室